

# 2024年度 環境経営レポート

---

株式会社ビー・エヌ

対象期間：2024年4月1日～2025年3月31日



(株)ビー・エヌは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

作成日：2025年4月1日  
更新日：2025年6月16日

# 目次

1. あいさつ/社歴	3	8. 印刷物加工機メンテナンス	25
2. 環境経営方針	4	9. ECサイト向け商品	26
3. 環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5	10. 健康経営	27
4. SDGs自社に関連する主なゴール	6	11. 環境法規	29
5. 会社概要	8	12. 地下貯蔵タンクの定期点検	31
ー主な商品紹介	10	13. 緊急事態対応の試行・訓練	32
ーネット販売商品	11	14. 事業継続力強化計画	33
6. 課題とチャンス	12	15. 次年度の計画	38
7. 主な環境負荷の実績		16. 代表者による全体の評価と見直し・指示	39
ー過去3年間における環境経営目標及びその実績	14		
ー電気の二酸化炭素排出量削減	15		
ー太陽光発電量	16		
ー自動車の二酸化炭素排出量削減	17		
ー一般廃棄物の削減	18		
ー産業廃棄物の削減	19		
ー水道水の削減	20		
ー再生原料利用の推進	21		
ー化学物質の適正管理	22		
ー非PRTR製品比率向上	24		

## ごあいさつ

経済環境の激変は、大変厳しいものになってますが人為的努力で回復の期待が持てます。一方地球環境、住環境は一度変化してしまうとなかなか人間の力では元にはもどせません。そんななかで塗料を扱う私たちだからこそ、環境を考え少しでも温暖化防止、環境保全活動に寄与できればと考えています。 馬場 正之



## 弊社について

株式会社ビー・エヌは、塗料一筋100年を超える歴史を有しています。第1創業期は、木工用塗料・軍事用塗料の販売や宮内庁御用達の家具用塗料の製造を。第2創業期では紙用機械塗り塗料の開発などを、そして現在の第3創業期では、印刷に求められる高付加価値化に対応する塗料の販売、その塗料の最適化を図る希釈剤の製造・販売などを行っております。塗料とともに歩んできた100余年。当社ではこれからも歴史に甘んじることなく、新たな塗料の可能性を追求し、お客様の期待に応える塗料のプロフェッショナルとしてその役割を果たしていきます。

## 社歴

- **1907 第1創業期**  
大阪府東区（現中央区）今橋にて創業  
主に木工用塗料を製造販売
- **1955 第2創業期**  
木から紙に塗る塗料へ
- **1991 第3創業期**  
油性塗料から水性塗料へ
- **1992**  
メーカーから商社へ
- **2007 創業100年を迎える**
- **2020**  
ネット販売開始

# 環境経営方針

## 環境経営理念

安心して人間らしく生きることのできる環境、地域を守り続けることが経営の重要課題であります。

塗料を扱う当社だからこそ環境経営システムを構築・運用し、全社一丸となって自主的・積極的に環境保全活動に取り組みます。

当社の塗料製造・販売の事業活動における環境負荷の低減を真剣に考え取組む為、行動指針を次のように定めます。

## 環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄ロスをなくす等廃棄物の発生抑制に努めます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 洗浄剤やコーティング剤など適正管理に努めます。
6. 安心して安全な商品と環境に関する情報を効率よくタイムリーにお客様にお届けします。
7. 印刷物加工機メンテナンスにおける環境配慮に努めます。
8. 身近に溶剤・燃料を普及させるためにECサイト向け商品を開発、販売し企業価値向上を目指します。
9. 安全な作業環境を社員に提供します。
10. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

制定日：2010年10月1日

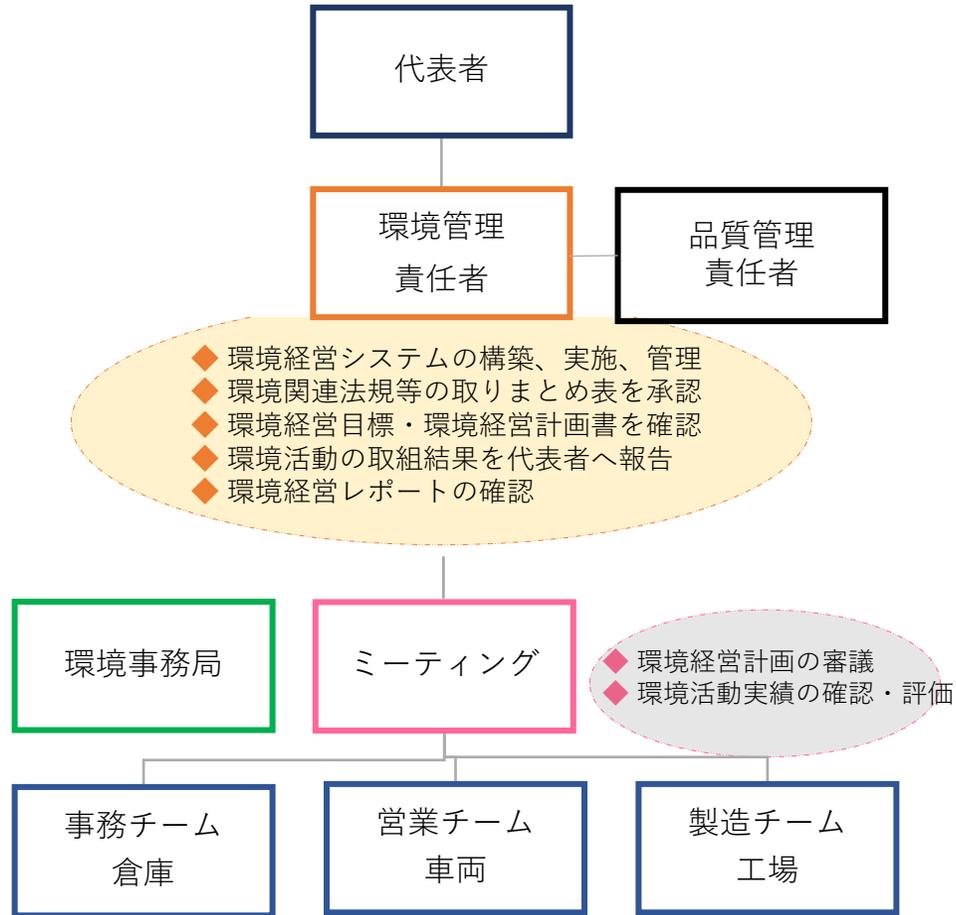
改定日：2024年5月20日

代表取締役社長 馬場正之



# 環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2023年1月16日



全体

- ◆ 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
- ◆ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

## 代表者

- ◆ 環境経営に関する統括責任
- ◆ 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備
- ◆ 環境管理責任者を任命
- ◆ 環境経営方針の策定・見直し
- ◆ 環境経営目標・環境経営計画書を承認
- ◆ 代表者による全体の評価と見直し、指示
- ◆ 環境経営レポートの承認・・・等

## 環境事務局

- ◆ 環境管理責任者の補佐、ミーティングの事務局
- ◆ 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
- ◆ 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
- ◆ 環境活動の実績集計
- ◆ 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
- ◆ 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
- ◆ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
- ◆ 環境経営レポートの作成、公開  
(事務所に備付けと地域事務局への送付)

## 部門長

- ◆ 自部門における環境経営方針の周知
- ◆ 自部門の従業員に対する教育訓練の実施
- ◆ 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
- ◆ 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施
- ◆ 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成
- ◆ 試行・訓練を実施、記録の作成
- ◆ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施

# SDGs自社に関連する主なゴール

3

すべての人に  
健康と福祉を



3.9 2030年までに、有害化学物質、並びに大気、水質及び土壌の汚染による死亡及び疾病の件数を大幅に減少させる。

3.a 全ての国々において、たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約の実施を適宜強化する。

4

質の高い教育を  
みんなに



4.4 2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。

4.7 2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。

6

安全な水とトイレ  
を世界中に



6.3 2030年までに、汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物・物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用の世界的規模で大幅に増加させることにより、水質を改善する。

6.6 2020年までに、山地、森林、湿地、河川、帯水層、湖沼を含む水に関連する生態系の保護・回復を行う。

7

エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。

7.a 2030年までに、再生可能エネルギー、エネルギー効率及び先進的かつ環境負荷の低い化石燃料技術などのクリーンエネルギーの研究及び技術へのアクセスを促進するための国際協力を強化し、エネルギー関連インフラとクリーンエネルギー技術への投資を促進する。

8

働きがいも  
経済成長も



8.5 2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。

9

産業と技術革新の  
基盤をつくらう



9.3 特に開発途上国における小規模の製造業その他の企業の、安価な資金貸付などの金融サービスやバリューチェーン及び市場への統合へのアクセスを拡大する。

9.4 2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。全ての国々は各国の能力に応じた取組を行う。

# SDGs自社に関連する主なゴール

11 住み続けられるまちづくりを



- 11.6 2030年までに、大気、水、土壌の質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減する。
- 11.a 各国・地域規模の開発計画の強化を通じて、経済、社会、環境面における都市部、都市周辺部及び農村部間の良好なつながりを支援する。
- 11.b 2020年までに、包含、資源効率、気候変動の緩和と適応、災害に対する強靭さ（レジリエンス）を目指す総合的政策及び計画を導入・実施した都市及び人間居住地の件数を大幅に増加させ、仙台防災枠組2015-2030に沿って、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う。

12 つくる責任つかう責任



- 12.4 2020年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質や全ての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。
- 12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。

13 気候変動に具体的な対策を



- 13.1 全ての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靭性（レジリエンス）及び適応の能力を強化する。
- 13.3 気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する。

14 海の豊かさを守ろう



- 14.1 2025年までに、海洋ごみや富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する。

15 陸の豊かさも守ろう



- 15.2 2020年までに、あらゆる種類の森林の持続可能な経営の実施を促進し、森林減少を阻止し、劣化した森林を回復し、世界全体で新規植林及び再植林を大幅に増加させる。

17 パートナリシップで目標を達成しよう



- 17.17 さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。

# 会社概要

代表者	代表取締役 馬場正之
創業	明治40年
設立	平成3年12月18日
所在地	大阪府大阪市城東区鳴野西2丁目7番6号 TEL：06-6962-2781
事業内容	印刷物表面加工用資材販売 塗料・溶剤の製造及び販売 除菌剤・液体燃料の製造及びネット販売
主要商品	印刷物表面加工用フィルム・塗料、希釈剤 木材割れ止め塗料、木工用塗料 燃料用アルコール、ランタン用オイル 除菌剤、洗淨剤
事業規模	売上高 4.9億円 従業員数 8名
認許可	1.食品添加物製造業（大阪市大保環 第20381号） 2.毒物劇物製造業（大阪府登録 阪製第457号） 3.毒物劇物販売業（大阪府登録 第HH04678号）

## < 設備 >

総敷地面積  
1,980㎡

### 危険物製造所

延 延 192㎡一棟  
混合タンク 1,600L一基、800L二基（固定式）  
1,500L一基、1,200L一基（移動式）  
攪拌機 3台  
移動攪拌機 2台  
ホイスト 1機  
自動充填機 3台

### 危険物特定屋内貯蔵所

62㎡ 一棟

### 地下タンク貯蔵所

3基

### プレハブ

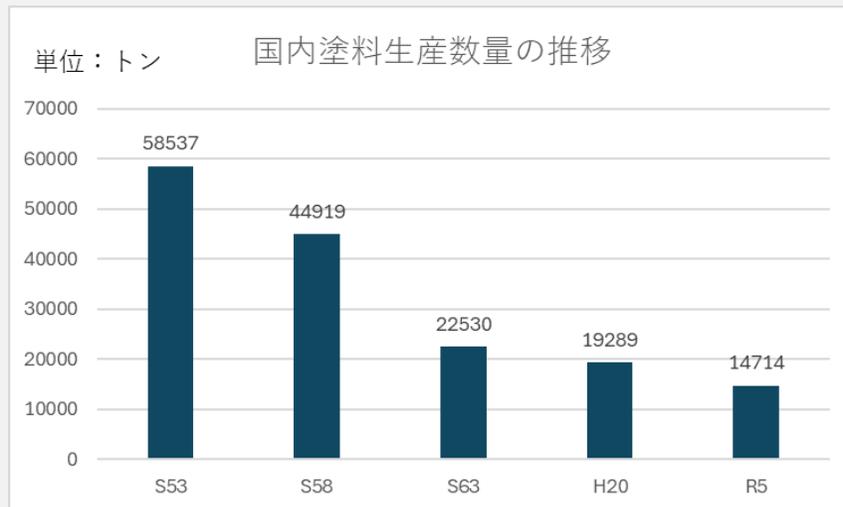
自動ラベラー 1台

事務所 他



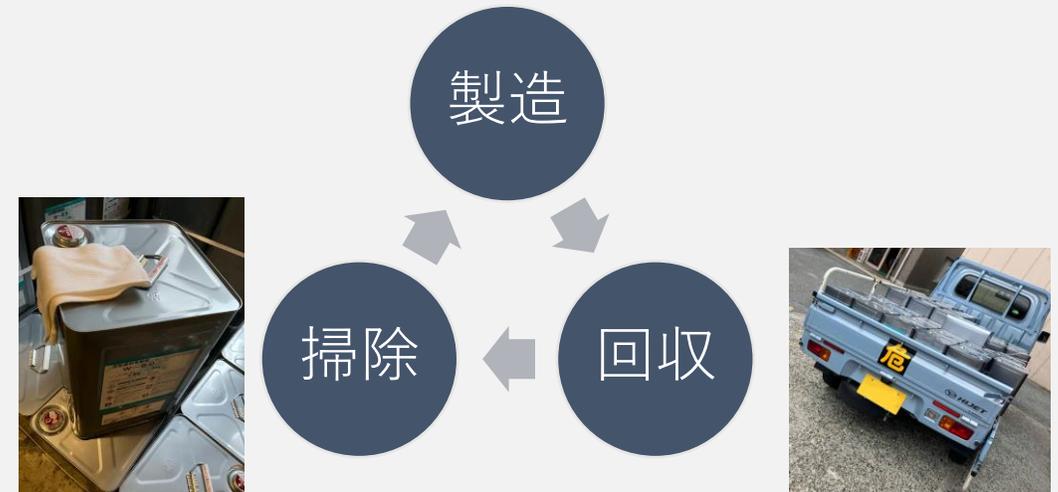
# 会社概要 - 商品 -

従来、我々の業界では油性塗料が主流でしたが、近年ではアルコールなど水溶性のものに移行しています。同時に、劇毒物が入った商品の出荷量も減少傾向にあります。そのような時代のニーズに合わせ、当社の扱う塗料も環境に考慮した材料選び・配合を常に考え製造を行っています。



出典：日本塗料工業会

製造時に必ず使用する石油缶には、積極的にリユース缶を採用しています。また、希釈剤等の商品は配達～引き上げまですべて自社便にて行っており、一部の石油缶を「通い缶」として再利用しています。



外観・中身をチェックした缶を掃除し、リユースしています。

自社便にて配達、使用済みの缶を回収しています。

## 希釈剤

希釈剤は水性と油性に分かれます。印刷の表面加工用塗料や木工用塗料を現場に合わせた形で使用するためには、塗料の特性を知るだけでなく、現場の特性を考慮し、最適な希釈の調合を行うことが大切です。当社では、自社内で希釈剤を調合することができる工場を装備し、お客様の「今すぐほしい」に対応できる環境を整えています。また、希釈剤以外にもご希望に沿った塗料の提案や製造を行っています。

### W-10

水性塗料希釈剤のスタンダードタイプ。メタノールを主体に速乾性を重視、全ての水性塗料に対応します。W-10をベースにお客様の使用目的・環境に合わせて配合を変えた商品も数多く取り扱うことで、広くご使用いただいています。



## 特殊用塗料

木工用塗料は艶を出す、木肌を生かす、耐久性を持たせるなどの目的を持っています。当社では、ワレ防止・速乾・肉持ち感・日焼け止めなど多彩な機能を備えた塗料をラインナップしています。食品保護用塗料の他、鋼材を錆から守る、絶縁機能を持つ塗料なども取り揃えています。

### インドスーパーセラック

天然樹脂セラックを主成分にし、耐溶剤性に優れた木材節ヤニ止め下塗り用塗料です。樹脂の特性を活かし絶縁ニスにも使用されています。



### 一時防錆塗料

特殊共重合樹脂を主成分にした速乾性油性塗料です。素材との付着性が良く塗膜の再溶解性に優れているので、一時保管後のふき取りも楽にできます。クリアタイプに加え塗装確認のしやすい黄、青の着色タイプも準備しています。

# ネット販売商品 – 再生品の使用 –

コロナウイルスの感染拡大をきっかけに自社で除菌剤の製造・販売を開始しました。  
厳しい状況が続く中、従来では行っていなかったネット販売へ販路を広げるなど新しい取り組みに挑戦しています。

そして弊社では『従来のPRTR該当商品の製造数を減らす』のではなく、これらのネット販売商品のような『非PRTR商品を増やすことで相対的に減らしていく』という方向で取り組んでいます。



## 再生品の使用について

現在、一部商品の原料（アセトン・IPA・酢酸エチル）に『再生品』を積極的に採用しています。  
再生品自体は基盤の洗浄で使ったものを蒸留したものであり、成分としては純正とほとんど変わらないため既存の取引先も再生品を使用した製品に切り替わってきています。

## バイオエタノールの使用

食品添加物の製造で使用していた醸造エタノールがバイオエタノールに該当しており、新商品等の原料にも採用しています。  
化学物質を取り扱う中でも、できる限り環境に配慮した製造を意識しています。

## バイオエタノールとは

さとうきびやトウモロコシなどのバイオマスと呼ばれる生物資源から製造されたエタノールの事です。これらは原料の成長過程で光合成をおこないCO<sub>2</sub>を吸収する為、おおきなサイクルで見た時に一方的に大気中にCO<sub>2</sub>を放出することにならないので環境に良いとされています。

# 課題とチャンス

## 🔍 SWOT分析

	内部	外部
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●設備の老朽化、手作業の多さにより対応力に限界がある</li> <li>●中心となる取引先が印刷の表面加工業界に偏っている</li> <li>●社長と社員との間に商品に関する知識量の差がある               <ul style="list-style-type: none"> <li>・EC商品の生産効率</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●表面加工業界の高齢化が進んでいる</li> <li>●フィルムに関しては安売りの輸入品が広がり始めている</li> <li>●表面加工を必票としない印刷技術が進展している</li> <li>●原油価格と為替相場の変動</li> </ul>
チャンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業改善と作業方法の見直し</li> <li>・取引額によらない継続取引</li> <li>・商品知識習得の勉強会実施</li> <li>・展示会見学等への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンテナンス事業立ち上げ</li> <li>・新しい取引条件の提案</li> <li>・印刷業界の新規営業</li> <li>・原料メーカーの選定と価格交渉</li> <li>・除菌剤など新商品開発</li> <li>・BtoCの需要の高まり</li> </ul>

## ☆ 環境に関する課題とチャンス

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境対応に応じた新商品の開発が進んでいない</li> <li>・プラスチックの処理問題で、今後の商品の対応に左右される</li> <li>・この2, 3年で社員が1名ずつ増えた為、その環境に対応出来ていない</li> </ul>
チャンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社員数が増えたことにより新事業の展開を進めることが出来る</li> <li>・エコアクションの活動において役割分担が可能になる</li> </ul>

### 環境経営方針

取扱い塗料、フィルム共に販売の事業活動における環境負荷の低減を真剣に考え取組む

### 環境経営目標

- ・二酸化炭素削減
- ・一般・産業廃棄物の削減
- ・劇毒物・有害物質の削減

# 主な環境負荷の実績 – 今期の環境経営目標及びその実績 –

※二酸化炭素排出係数 0.311kg・CO<sub>2</sub>/kWh 電力会社（関西電力）の調整後の係数

年度		基準値	2024年		2025年	2026年
項目		(基準年)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力によるCO <sub>2</sub> 削減	kg - CO <sub>2</sub>	2,605	2,579	3,012	2,501	2,475
	基準年度比	2023年	99%	116%	96%	95%
原単位	KWh/千円	0.0181	0.0179	0.0195	0.0174	0.0172
自動車燃費によるCO <sub>2</sub> 削減	kg - CO <sub>2</sub>	7,831	7,753	7,412	7,596	7,518
	基準年度比	2023年	99%	95%	97%	96%
上記CO <sub>2</sub> 排出量合計	kg - CO <sub>2</sub>	10,436	10,332	10,424	10,097	9,993
一般廃棄物の削減	kg	336	313	534	313	303
	基準年度比	2023年	93%	159%	93%	90%
産業廃棄物の削減	t	1.26	1.25	1.37	1.22	1.21
	基準年度比	2023年	99%	109%	96%	95%
水道水の削減	m <sup>3</sup>	37	37	39	36	36
	基準年度比	2023年	99%	105%	96%	95%
非PRTR製品比率向上	%	-	67%	88%	67%	67%

上記の他に化学物質の適正管理、印刷物加工機メンテナンスにおける環境配慮、再生原料利用の推進に取り組んでいます。

# 主な環境負荷の実績 —過去3年間における環境経営目標及びその実績—

※2021年 二酸化炭素排出係数 0.493kg・/kWh  
 ※2022～2023年 二酸化炭素排出係数 0.311kg・/kWh

年度		2021年		2022年		2023年	
項目		(目標)	(実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(実績)
電力によるCO2削減	kg-CO2	3,617	3,767	2,282	2,543	2,492	2,605
	基準年度比	98%	102%	96%	109%	98%	102%
自動車燃費によるCO2削減	kg-CO2	9,404	8,012	9,404	8,746	8,571	7,831
	基準年度比	98%	84%	98%	91%	98%	90%
上記CO2排出量合計	kg-CO2	13,020	11,779	11,685	11,288	11,063	10,436
一般廃棄物の削減	kg	331	319	331	418	389	336
	基準年度比	93%	90%	93%	118%	93%	80%
産業廃棄物の削減	t	1.9	1.4	1.9	1.3	1.9	1.26
	基準年度比	90%	67%	90%	58%	90%	58%
水道水の削減	m <sup>2</sup>	85	112	85	51	48	37
	基準年度比	95%	126%	95%	57%	95%	73%
非PRTR製品比率向上	%	67%	79%	67%	82%	67%	88%

# 電気の二酸化炭素排出量削減

## 💡 主な取り組み内容

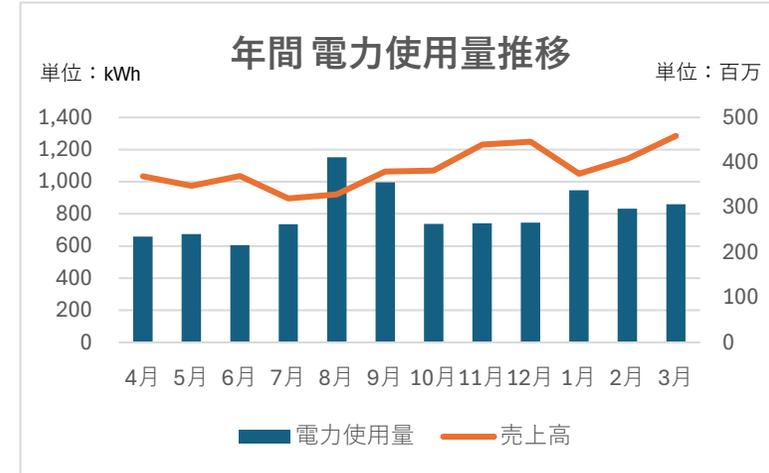
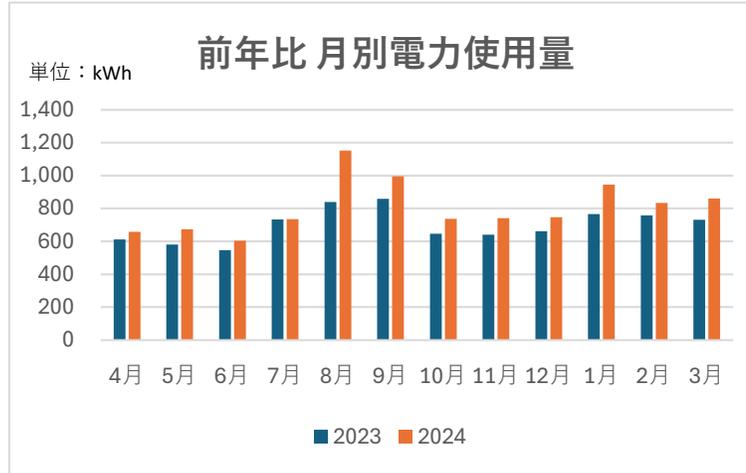
◇事務所・工場各所に節電表示



◇駐車場・現場照明をLEDに総入れ替え



取組計画	
冷房 28℃ 暖房 20℃	○
不要照明の消灯	×
スポットクーラーの計画的使用	○
工程ロス削減	○
エリアごとの消費電力の把握	△



## 電力二酸化炭素削減評価

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月次評価	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
累計評価	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

## 売上高原単位評価

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月次評価	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×
累計評価	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

## … 通年目標達成ならず…

今期は全体的に電気の使用量が多く、目標を達成することができませんでした。メンテナンス事業の事業強化、自動充填機とラベラーの導入により、コンプレッサの稼働時間が増加したことが数値に現れたと思います。機械設備の消費電力の把握及び計画的使用を考え、使用量を最小限に抑えてきたいです。また、照明の消し忘れが散見されたので、定期的に声掛けを行います。来期も社員が1名増える予定のため、例年より数値が大きくなることが予想されます。改めて節電できるポイントを探し、改善していきます。(環境管理責任者)



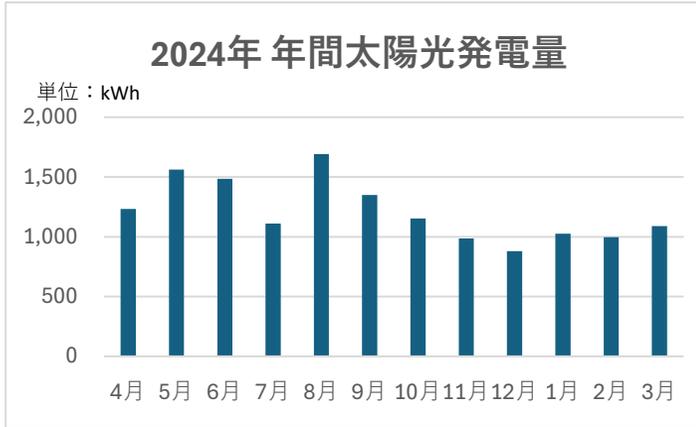
# 太陽光発電量

## ☀ ソーラーパネルの設置



ソーラーパネルは当社の関連会社が運営する施設の屋上に設置しており、災害・停電時の非常用電源として備えています。

**今期の太陽光発電による売電量は14,564kWh – 384,487円**

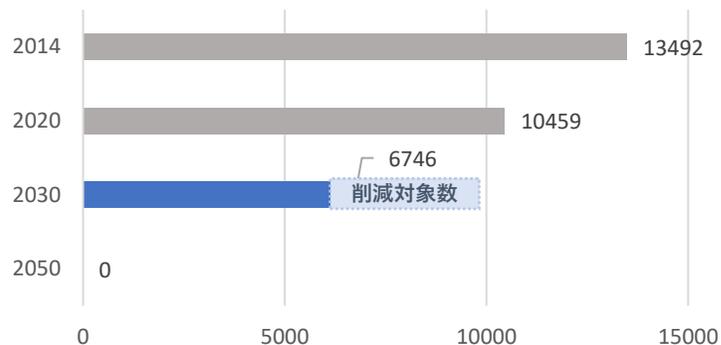


太陽光発電における年間のCO<sub>2</sub>削減量は以下の通りとなっており、  
**14,564kWh × 0.311 kg-CO<sub>2</sub>/kWh = 4,529 kg**  
発電量 (kWh) × CO<sub>2</sub> 排出係数 (kg/kWh) = CO<sub>2</sub> 削減量 (kg)

今年度の電力消費量におけるCO<sub>2</sub>排出量 (3,012Kg) の約1.5倍の数値でした。

## カーボンニュートラルに向けた取り組み

CO<sub>2</sub>排出量の実値と2050年削減目標



**過去最も排出量の多かった2014年の数値から50%削減**

【取り組み】

電力の省エネ、自動車のEV化、再エネ電力使用、駐車場に太陽光発電の設置

**実質排出0を目標に**

【取り組み】

電力の省エネ、自動車のEV化、再エネ電力、太陽光発電

# 自動車の二酸化炭素排出量削減

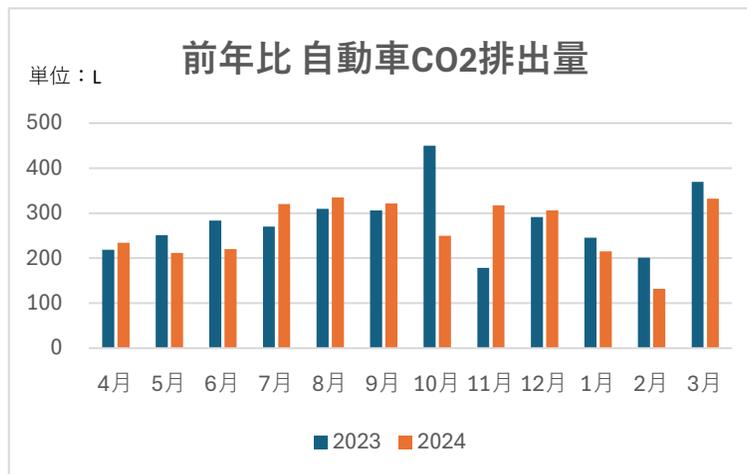
## 🚗 主な取り組み内容

◇積載量に応じた車両の使い分け



配達量に左右されるため、自動車の使用率（CO2排出量）は中々下げられません。ですが、受注・配達時に最低限の走行距離になるよう日々段取りしています。

取組計画	
アイドリングストップ	○
効率的なルートで配送	○
急加速・急停止の防止	○
冷暖房の控え目使用	△



## 自動車の二酸化炭素削減評価

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月次評価	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	○	○
累計評価	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○

### … 基準年から増加という結果に…

受注数の増加が数値に影響しました。商品の品質維持の観点から、自社在庫数を見直し、メーカー直送を中心にする事で、同時に自社配達の回数を減らしていきたいです。来期以降、出張や営業回数が増えるため、引き続き、効率の良いルート選定やアイドリングストップ等を行います。

(車両担当者)

# 一般廃棄物の削減

## 主な取り組み内容

### ◇ 梱包材に再利用



出荷時に簡易包装&梱包材の再利用を行っています。倉庫発送時にはラベルの離型紙などを緩衝材として用いています。

### ◇ 古紙リサイクル裏紙の再利用



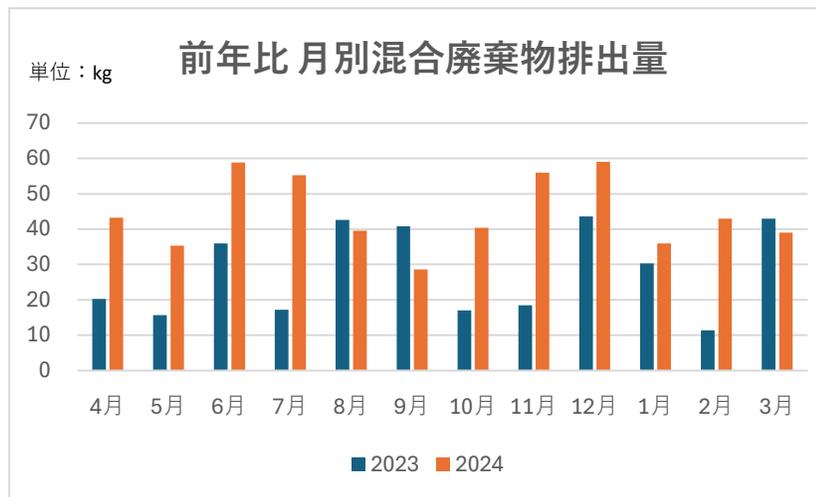
まだまだ受発注はFAX形式が多いため、裏紙を積極的に再利用しています。

### ◇ 日々の在庫記録をタブレットで



廃棄物の削減のほかに、作業効率アップにもつながっています

### ◇ お弁当を使い捨て → 回収容器の業者へ



取組計画	
分別の徹底	○
梱包材に再利用	○
ミスコピーの防止	△
裏紙の再利用	○

## 混合廃棄物の削減評価

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月次評価	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×
累計評価	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

## … 通年目標達成ならず…

製造中に排出される廃棄物と分別することが難しいため、今期からは混合廃棄物として集計しています。基準年から約1.5倍増という結果になりました。製造数の増加や現場整理の実施などが要因として考えられます。ラベル印字時の印字不良によるミスコピーが目立っていましたが、印字スピードを調整することで対策をしています。どのような廃棄物が多いか等、把握しきれていないのが現状です。廃棄量削減のために調査し、改善していきます。(事務担当者)

# 産業廃棄物の削減

## 🗑️ 主な取り組み内容

### ◇ 廃サクエを用いて掃除



回収してきた缶の軽い汚れなどは廃サクエで拭き取っています。

### ◇ 廃液の分別処理



掲示など明確に区分けしています。

## 取組計画

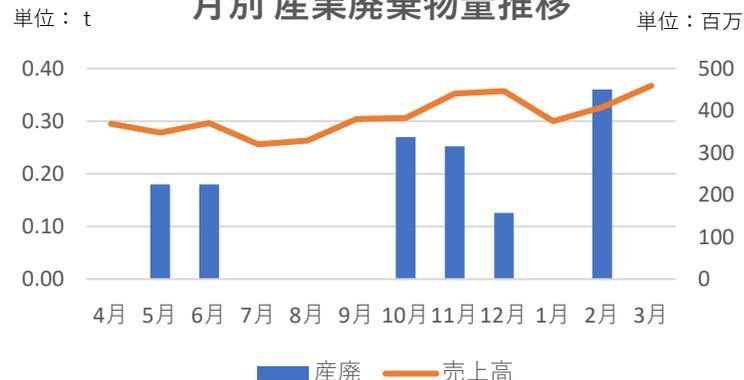
作業ミスによる廃棄量の削減

○

製造歩留まり率のアップ

○

## 月別 産業廃棄物量推移



## 年別 産業廃棄物量推移



## 産業廃棄物の削減評価

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月次評価	○	×	×	○	○	○	×	○	×	○	×	○
累計評価	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×

🗨️ 数値的には増加となりましたが..

産業廃棄物の排出について、ニス製品の製造が主な発生要因です。製造数に比例し廃棄量も増加するため、評価としては目標値を上回る結果となりました。ですが、ニス製品よりも産業廃棄物を伴わない製品の売上が伸びています。そのため、売上に対する廃棄量の比率は相対的に低下していると考えられます。作業ミスのないように製造を行い、少しでも廃棄量を削減できるように努めます。（品質管理責任者）

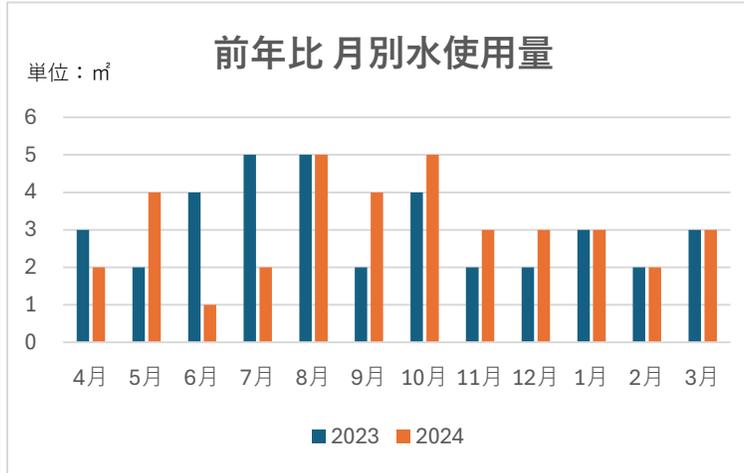
# 水道水の削減

## 主な取り組み内容

- ◇ 節水レバー取り付け (右)
- ◇ 節水ラベル表示 (左)
- ◇ 水温調節を氷→凍らせたペットボトルで代用



目につく所 全てにラベルを貼り、節水の意識付けに繋がっています。



## 水道水の削減評価

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月次評価	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
累計評価	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×

## … 基準年から微増

夏場において、目標値をクリアできました！  
 しかし、12月以降は目標値をクリアすることができませんでした。  
 基準年と比較すると使用量に大きな差はないため、規定数値内かと思いますが、引き続き、節水の呼びかけを定期的に行います。(環境管理責任者)

## 取組計画

水道水削減目標説明	○
節水レバー取り付け	○
節水呼びかけ	○

## 🔄 主な取り組み内容

◇ 純正品



◇ 再生品



## 取組計画

再生品の積極的購入



本項目はドラム単位で仕入れをしている原料のうち再生品、純正品を並行して購入している商品に絞って計測をしています。

### 💬 再生品を積極購入しています

製品の品質等の理由もあり、すべてを再生品に置き換えることはできませんが、安定して仕入れができています。

再生品購入比率は88.4%と、前年より4%向上しました。

また、**アセトンに関しては再生品の仕入れが100%**のため、その他の原料においても再生品に置き換えられる商品を増やしていきたいと考えています。

他の原料でも再生品を選択できないか継続して探していきたいと思っています。

(化学物質管理者)

# 化学物質の適正管理

## 📋 主な取り組み内容



製品の他、原材料も明確な置き場の区分を定め製造時の異物混入防止・在庫管理を行っています



消防の監査の際の指摘があった場合には適宜対応しています



周囲は住宅街で通行人も非常に多いため、注意喚起の看板を設置し周知に取り組んでいます



取組計画	
有害性物質の表示の徹底	△
容器の蓋の徹底	○
作業ミスによる使用量増加の抑制	○
代替物質の検討	○
貯蔵タンクの定期点検と日常点検	○
SDSの作成と顧客への提供サービス	△

### 🗨️ 適正管理を行っています

今期からは化学物質管理者を選任し、管理に対する意識が高まったと思います。弊社では多くの危険物を取り扱うため、徹底した管理を行っています。近隣には住宅も多いので進入禁止・危険物取扱周知をし、事故の未然防止に努めています。来期では、社内に保管している原材料への有害性物質の表示、SDS参考資料の統一及び新たなSDSを作成を行います。(化学物質管理者)

# 化学物質の適正管理

自社商品ラベルにはGHSやSDSへ直接アクセス可能な二次元バーコードの印字をすることで使用者がいつでも危険性を確認でき、また適切に管理できるようになっています。

## 危険性の表示 (GHS)

化学品の危険・有害性ごとに分類基準をピクトグラム等で表したもの。



## SDS (安全データシート) へのリンク

SDSとは事業者が化学物質を含んだ製品などを使用、もしくは他の事業者に提供する際に交付する危険性を記載した文書のことです。主に火災、人体、環境等の危険性がまとめられています。



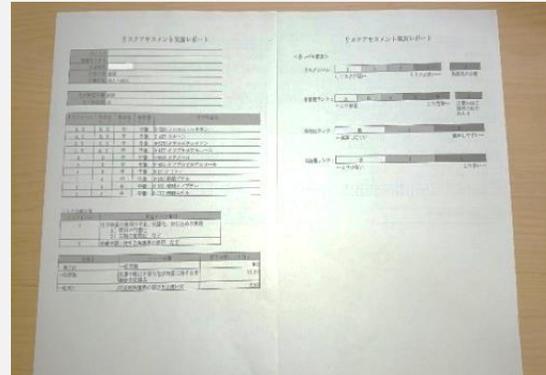
# 非PRTR製品比率向上

## 📄 主な取り組み内容

### ◇ 安全データ作成



### ◇ リスクアセスメント作成



## 取組計画

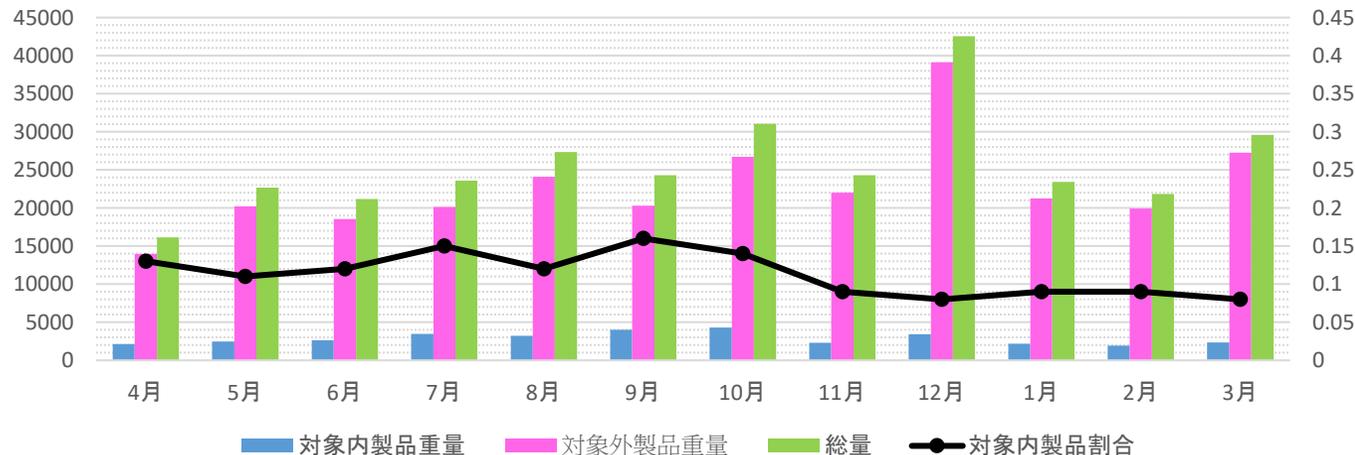
非PRTR製品の販売促進



脱トルエンの推進



2024年度 製品総出荷量におけるPRTR対象製品比率



## … 基準値を無事にクリア

今期の非PRTR製品比率は88%となり、安定した数値を出せています。後半も85%以上の数値をキープして、とても良い結果としてみています。個人向け商品の販売好調により、非PRTR物質の割合が大きくなっています。特にECサイトのセール時に良い影響が大きく反映する結果となりました。また、トルエンの使用量は減少していますが、別の溶剤への置き換えによる影響ではないことが現状です。引き続き、脱トルエンの推進に努めます。(製造担当者)

# 印刷物加工機メンテナンス



エンドレス板の加工に我が社も取り組んでいます。  
業界の存続にも関わる事業なので、今後も継続する為に重要な業務です。  
お客様に安心して作業を任せていただけるように、日々検証を重ねています。

取組計画	
メンテナンス事業における環境配慮	×
印刷業界の新規営業	×
印刷関連業界外の市場開拓	×

## … 計画通りとはならず…

今期は板の貼替え作業が4件、リペア作業が7件と目標メンテナンス回数が達成できませんでした...  
現状でのメンテナンス作業が時間内で終わる事が出来ず、お客様より依頼件数が増えないのが原因となっています。  
来期は時間内で作業を終わらせて、目標メンテナンス回数を倍に増やしていきます。(メンテナンス事業担当者)

### 【2025年度目標】

- ・ エンドレス板の張替え作業を他社と同等のクオリティに仕上げる
- ・ 作業時間の短縮と新しい加工方法を検討する
- ・ 1年間で10件の作業

### 【3年後の展望】

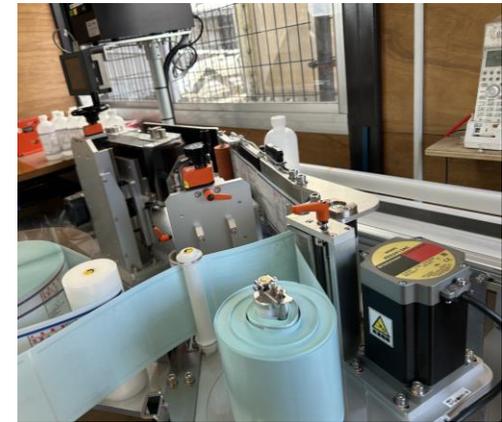
今後はメインであるエンドレス板の貼替えメンテナンス作業とは別にお客様が求めているメンテナンスの作業内容を増やして件数を獲得していきます。

容器への小分け、ラベル貼り、梱包まですべて手作業で行っておいりました。  
11月に設備を導入し、生産性向上を目指しています。

## ◇自動充填機



## ◇ラベラー



### 取組計画

展示会に出展	×
販売促進のMTG	△
商品の製造効率のアップ	○

### …設備を導入しました！

11-12月に機械設備を導入しました。1日に製造できる数量が増え製造効率が上がりました。残念ながら展示会への出展はできませんでしたが、どのような形で出展ができるかを考えるために展示会を見学しました。来期ではチーム編成を行い、展示会出展に向けた取り組みや各チームの報告機会を設け、販売促進へ前進します。（環境事務局）

弊社では2022年9月より、協会けんぽが推進する『健康宣言』に下記の内容でエントリーしています。若い社員が多いですが、将来も元気で働き続けられる職場を目標として健康経営を目指します。引き続き従業員の職場環境の向上はもちろん、組織全体としての活性化・業績の向上に努めます。

## 1. 経営理念（経営者の自覚）

- ・健康宣言の社内外への発信及び経営者自身の健診受診

## 2. 組織体制

- ・健康づくり担当者の設置
- ・（求めに応じて）40歳以上の従業員の健診データの提供

## 3. 制度・施策実行

### (1) 従業員の健康課題の把握と必要な対策の検討

#### I.健康課題に基づいた具体的な目標の設定

- ・健康経営の具体的な推進計画

#### II.健康課題の把握

- ・定期健診受診率（実質100%）
- ・50人未満の事業場におけるストレスチェックの実施

### (2) 健康経営の実践に向けた土台作り

#### I.ヘルスリテラシーの向上

- ・管理職又は従業員に対する教育機会の設定

#### II.職場の活性化

- ・コミュニケーションの促進に向けた取り組み

#### III.病気の治療と仕事の両立支援

- ・私病等に関する両立支援の取り組み

### (3) 従業員の心と身体の健康づくりに関する具体的対策

#### I.具体的な健康保持・増進施策

- ・食生活の改善に向けた取り組み →p.28
- ・運動機会の増進に向けた取り組み →p.28
- ・女性の健康保持・増進に向けた取り組み

#### II.感染症予防対策

- ・感染症予防に関する取り組み →p.28

#### III.喫煙対策

- ・受動喫煙対策に関する取り組み

## 4. 評価・改善

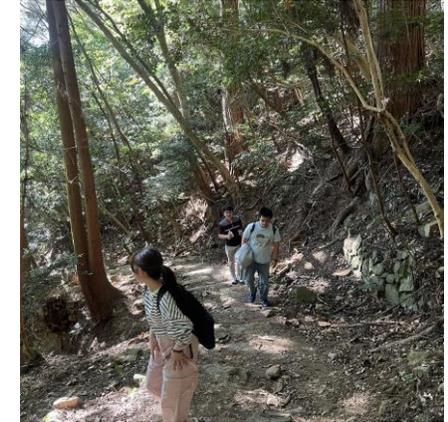
健康経営の取り組みに対する評価・改善

## 5. 法令順守・リスクマネジメント（自主申告）

定期健診を実施していること、50人以上の事業場においてストレスチェックを実施していること、労働基準法または労働安全衛生法に係る違反により送検されていないこと

## 歩数イベント

2024年9月1日～11月30日の3カ月間、歩数強化週間として1日8000歩を目標にして取り組みました。11月には社員で摩耶山をハイキングし、神戸の自然の豊かさを満喫しました。



## お弁当

栄養バランスの整ったお弁当をデリバリーしています。また、容器は返却し、ゴミの排出量を削減しています。

## 感染症対策

- ・ 入社時の体温チェックおよび体温表管理
- ・ 緊急事態宣言時は2班に別れ交代勤務制
- ・ 昼食時は全社員が別室へ移動し、同席を避ける
- ・ 手拭きタオルを衛生的なペーパータオルへ変更  
などの対策を徹底しています。



## 取組計画

定期健診の受診	○
運動機会の増進に向けた取り組み	○
健康経営の認定更新	○

# 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規則	適用される事項（施設・物質・事業活動）
廃棄物処理法	一般破棄物、産業廃棄物（廃プラ、廃油等）
騒音規制法	空気機（移動式）※
水質汚濁法	地下タンク貯蔵所
PRTR法	製品のSDS発行
毒物及び劇物取締法	溶剤（酢酸エチル、トルエン、メタノール、MEK、キシレン）
消防法（危険物）	地下タンク貯蔵所・製造所
大阪府自動車流入規制	トラック
フロン排出抑制法	スポットクーラー
顧客要求事項	納期厳守、客先置き場厳守、SDS要求対応、レシピ相談・提案

※移動式のため法規制には適用されないが、近隣から苦情等があった場合には使用場所・時間を改める。

**環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境関連法規制は順守されていました。**

**なお、違反、訴訟なども過去三年間ありませんでした。**

**外部からの環境上の苦情・要望等は年間を通してありませんでした。**

## 平時の推進体制の整備、訓練及び教育の実施その他の事業継続力強化の実効性を確保するための取組

代表者の指揮の下、エコアクション21の年1回の定期的な緊急事態の訓練を行い、手順書の有効性・行動の実効性を確認・評価を行うとともに、年1回の定期見直し時に、事業継続力強化の有効性、適切性を検証する。必要に応じて事業継続計画の見直しを行う。

## 関係法令の遵守

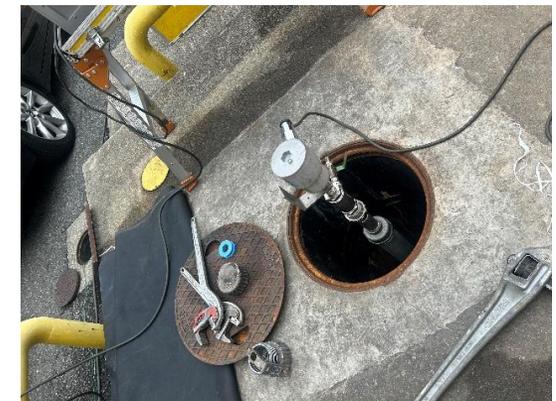
事業継続力強化の実施にあたり、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和二十二年法律第五十四号）、下請代金支払遅延等防止法（昭和三十一年法律第二百十号）、下請中小企業振興法（昭和四十五年法律第四百四十五号）その他関係法に抵触する内容は含みません。

# 地下貯蔵タンクの定期点検

消防法に基づき、弊社では地下貯蔵タンクの定期点検を3年に1回\*行っています。（前回点検：2025年4月27日）  
また、タンクの老朽化対策として電気防食（外部電源方式）を設置しており、周囲の安全保持に日々注力しています。

## 地下貯蔵タンク点検

通気口を密閉し、窒素で圧をかけて漏れがないかをチェックし、点検を行います。



## 電気防食点検

点検方法について記載



# 緊急事態対応の試行・訓練

弊社では劇毒物・危険物等を取り扱っているため火災発生時、溶剤流出時を想定し消火・避難訓練、流出事故対応などの訓練を行っています。今期では下記の内容を行いました。

## 消火訓練

### 消火器の使用方法

実施日：2024/06/01

参加者：全員

実施内容：消火器の使用方法の確認



水消火器を用いて、消火器の使用方法の確認及び体験、現場で火災が発生したときの避難ルートの確認を行いました。現場内の整理整頓や災害時における迅速な対応と判断を確認することができたと思います。

手順書の変更の必要性 あり なし

改定日：2024/06/01 現場の全てのドアを常時開錠  
2024/06/01 タンク未使用時の蓋閉め

## 溶剤流出対応

### 漏洩拡大時の防止措置

実施日：2024/06/01

参加者：全員

実施内容：吸収材の使用方法の確認



溶剤流出時に、どこに流れる可能性があるか、吸収剤を敷く必要がある場所の確認、吸収剤の効果確認を行いました。吸収剤の効力を確認することができ、よかったと思います。

手順書の変更の必要性 あり なし

# 事業継続力強化計画

実施時期：2024/4～2027/3

認定年月：2024/4



## 自社の事業活動の概要

塗料製造及び販売、印刷物表面加工用資材販売を行っており、サプライチェーンで重要な材料を販売している。当社のような大阪市内での危険物製造施設は限られているため、当社の生産活動が縮小もしくは事業が停止するとサプライチェーンやに大きな影響が生ずる。

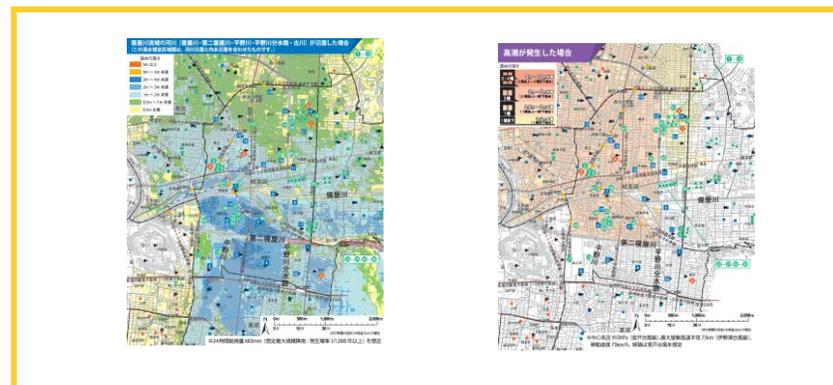
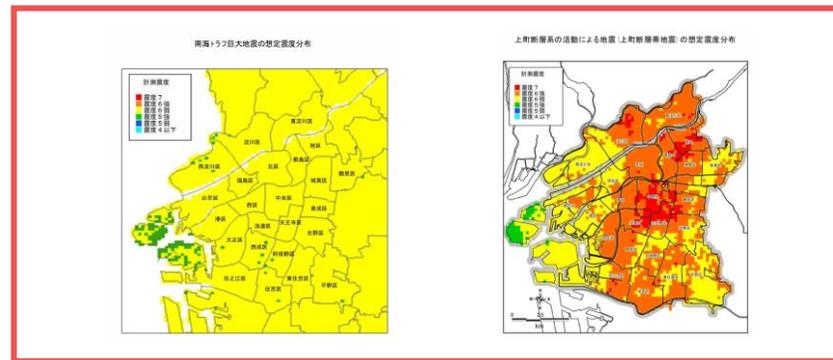
## 事業継続力強化に取り組む目的

- ・災害時に人命を最優先として、従業員の安全と生活を守る
- ・災害時に速やかに事業継続が可能な状態にする
- ・供給責任を果たし、顧客からの信用を守る。

## 事業活動に影響を与える自然災害等の想定

- ◆今後30年以内に震度6弱以上の地震が発生する確率は63.9% (J-SHIS地図参照)。
- ◆上町断層系の活動による地震の想定震度分布は震度6強、南海トラフ巨大地震の想定震度分布は震度6弱とされている。(大阪市HP ページ番号：11946)

- ◆淀川が氾濫した場合は0.5～3.0mの浸水、寝屋川流域の河川（寝屋川・第二寝屋川・平野川・平野川分水路・古川）が氾濫した場合は3m～4mの浸水が想定される。
- ◆高潮が発生した場合は0.5～3.0mの浸水が想定される。(大阪市HP「水害ハザードマップ（城東区）」 ページ番号：3 00877)



# 事業継続力強化計画



## 人員に関する影響

発生時間	想定できる被害	人員への影響
営業時間中	<ul style="list-style-type: none"><li>・設備の落下</li><li>・避難中の転倒</li><li>・危険物貯蔵タンクの破損による火災発生</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・怪我人の発生</li><li>・従業員の家族への被害</li></ul>
早朝・夜間		<ul style="list-style-type: none"><li>・従業員の出勤困難</li></ul>

【事業活動に与える影響】 復旧作業の遅れや事業再開時の生産量減少や製品リードタイムの延長



## 建物・設備に関する影響

建物・設備	耐震性/建物・設備への影響	電力（停電発生時）
事務所	新耐震基準を満たしている	太陽光発電による非常用電源が確保可能 FAX電話 メールでの受発注が困難となる。
工場	新耐震基準前（昭和43年）に建設されたため被害が想定される	モーターを使用した製造が不可となる他、リーチの バッテリーが切れると商品の運搬が不可となる。
倉庫	軽量鉄骨造りのため倒壊の恐れは低いものの、製品の倒壊、漏洩の危険性がある	
地下タンク	地下タンク付近の地面の亀裂破損や配管からの漏れの恐れがある	—

【事業活動に与える影響】 製造・仕入れが停止し復旧まで営業が立ち行かなくなることが想定される

# 事業継続力強化計画

## ¥ 資金繰りに関する影響

状況	影響	資金繰りに関する影響
メーカーの物流が途絶える	商品の供給が困難になる	運転資金として2か月分の現預金確保しているため、当面はしのぐことが可能
自社在庫の毀損		
自社工場被災時に製品が作れない		
工場建屋、設備の倒壊・破損	即時復旧はできず、債権のための資金調達も不確定	自社生産を諦める選択をせざるを得ないことを想定

## ☁ 情報に関する影響

状況	情報に関する影響
HDDの破損	クラウド上に保存していない顧客情報、財務資料の一部において、データ損失の恐れがある
長期間出勤困難な社員がいた場合	在宅・リモートワークによる業務環境を構築できないため、一部業務が停滞する可能性がある

【事業活動に与える影響】 上記の情報が失われた場合、取引先への支払いや請求業務が一時的に停滞することが想定される

## 🚢 その他の影響

取引先の被災や、インフラの影響により仕入れがストップした場合は、在庫分のみの受注となり販売機会損失となるおそれがある。

# 事業継続力強化計画（1）自然災害等が発生した場合における対応手順

## 人命の安全確保

初動対応の内容	発災時の対応時期	事前対策の内容
従業員の避難方法	発災直後	自社での安全な場所の設定 1 人命の安全確保（事務所内） ・ 公的避難所の設定（鳴野小学校）、また経路の確認・避難訓練の実施
従業員の安否確認	発災直後	LINE、メールの利用。（必要によっては災害用伝言ダイヤルの使用を想定）
生産設備の緊急停止方法	発災直後	・ 緊急時の機器停止手順の周知、確認

## 非常時の緊急時体制の構築

初動対応の内容	発災時の対応時期	事前対策の内容
エコアクション21の実施体制 （統括者：社長、責任者：高倉） に適應する	半日以内	エコアクション21の緊急事態の対応訓練の定期的な実施

## 被害状況の把握・被害情報の共有

初動対応の内容	発災時の対応時期	事前対策の内容
被災状況や、生産・出荷活動への影響への有無の確認。	2時間以内	・ LINEによる安否確認確認。 ・ 建物の破損状況確認 ・ OA機器の破損状況確認
当該情報の第一報を顧客及び取引先並びに地元の市当局、商工団体に報告	2時間以内	・ 被災状況と生産、出荷見込みを自社のホームページに掲載するとともに、顧客及び関係者にメールにて連絡する。

# 事業継続力強化計画 (2) 事業継続力強化に資する対策及び取組

## A 自然災害等が発生した場合における人員体制の整備

### 現在の取組

- ・ 属人化された業務を減らし、また、マニュアルの作成やスケジュール共有などによって引継ぎを容易にする体制をつくっている
- ・ 業務の多能工化を図る

### 今後の計画

- ・ 非常時は事務所から3 km圏内に居住する社員を緊急参集担当者に任命する。
- ・ あらかじめ設定してある災害時の行動フローを全社員に周知、共有を継続して行う

## B 事業継続力強化に資する設備、機器及び装置の導入

### 現在の取組

- ・ 停電時の太陽光発電設備の利用検討
- ・ 災害備蓄の購入（ヘルメット、土嚢、ブルーシート、懐中時計、救急箱など）
- ・ ウォーターサーバーの水の貯蔵数を増加

### 今後の計画

- ・ 太陽光発電設備は停電時の使用手順書の作成
- ・ 工場の耐震診断を受けて、対策を講じる
- ・ 災害備蓄をより充実させていく（飲食備蓄等）

## C 事業活動を継続するための資金の調達手段の確保

### 現在の取組

- ・ 近隣に第二寝屋川があり昨今の集中豪雨多発に鑑み、工場、倉庫の火災保険に水災を対象に追加した

### 今後の計画

- ・ 工場、倉庫は地震保険は対象外なので代わりに3か月の休業保障保険を検討する

## D 事業活動を継続するための重要情報の保護

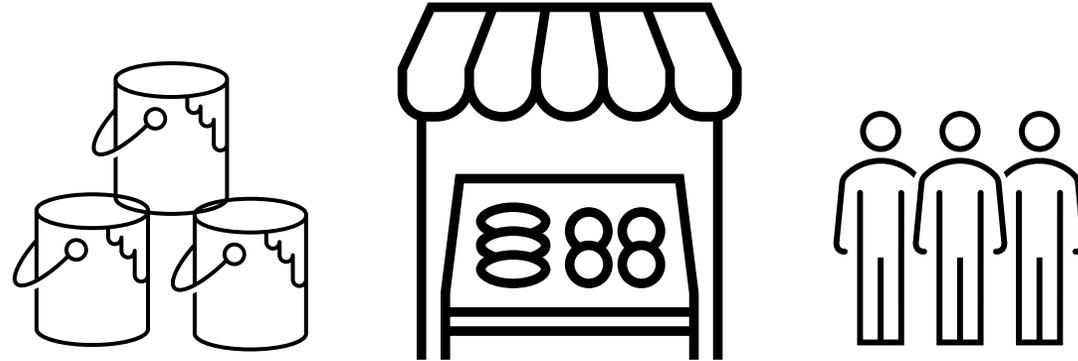
### 現在の取組

- ・ 既存クラウドへの定期的なバックアップを継続している

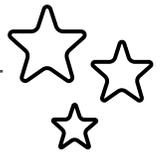
### 今後の計画

- ・ 紙媒体の資料、元帳といった記録の電子化を推進する
- ・ クラウド上にあるデータに関しては、今後も定期的にバックアップを継続する

## 小分け・OEM事業の拡大に向けて展示会に出展します



2025年12月に開催される大阪勧業展に出展を予定しています。  
様々な展示会の様子を見学し、自社サービスの魅力が伝わるように勉強しています。  
社員一丸となり、成果を上げれるように全力で励んでまいります。



## 代表者による全体の評価と見直し・指示

電力使用量が大幅に増えたのは、自動充填機がエア駆動のためコンプレサーの稼働時間が増えたのと溶接練習を今まで以上の密度で行った要因の方が大きいと思います。どちらもこれからのビー・エヌに不可欠な作業です。肝心なのは、不必要な無駄をなくす努力です。PCや電気のつけっ放し、ミスコピーや伝票の打ち間違い、梱包材の再利用、裏紙利用と目標達成手段にあげている項目を小さなことですが徹底することです。そのために環境事務局が中心となり社員全員への声掛けやポスター等の掲示による啓発など全社員に環境に対する意識づけを徹底しましょう。いつも言っている1%のムダ、ロスの撲滅、節約が会社の純利益につながります。メンテナンス事業でもステンレス板の溶接以外にもモルトン交換等付帯サービスが出来るようになることが必要で、そのためには何をすればよいか考える必要があります。環境を常に考えながら新し分野に挑戦していきます。（代表取締役社長 馬場正之）

●環境経営方針 変更なし 変更あり※1 ●環境経営目標・計画 変更なし 変更あり※2 ●実施体制他 変更なし 変更あり※3-4  
※1 環境経営方針「8」を追加 ※2 「ECサイト向け商品」「健康経営」を目標に追加 ※3 環境管理事務局担当者の新任 ※4 火災対応手順書の改訂



## 編集後記

4月に入社し、前任の担当者から環境事務局を引継ぎました。「エコアクション21とは」という理解から深める必要があり、資料作成にも時間がかかりました。来期では事業強化のためにチーム編成を行い、組織が突き動く年になると思います。環境経営活動の基礎を念頭に置き、精進してまいります。（環境事務局）